

**独立行政法人 宇宙航空研究開発機構**  
**平成22年度 任期付プロジェクト研究員採用**  
**『募集要項』**

独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、宇宙航空プロジェクトの推進を担う、優秀で意欲のある若手研究者を募集します。

1. 制度趣旨	独立行政法人宇宙航空研究開発機構が実施するプロジェクトの効果的効率的推進のため、専門知識を有する若手研究者の特定の分野におけるプロジェクトへの参加を求め、当該プロジェクトを研究面から支援し、併せて外部研究者との交流、研究情報の交換を促進し、宇宙航空関連研究者の裾野の拡大を図ることを目的としています。	
2. 募集する研究テーマ	下記の研究テーマ「1」～「72」の中から一つを選択して応募してください。なお、複数の研究テーマへの併願を希望する場合は、別の応募として新たな応募書類を準備し、応募してください。 各研究テーマの詳細、及び研究環境等については、『別紙』を参照してください。	
	1	液体ロケットエンジン設計解析における革新的物理モデルの研究
	2	宇宙環境における睡眠障害の対策に関する研究
	3	微小重力下での自己組織化を活用した材料創成とその産業展開
	4	短時間で効果的な軌道上運動療法に関する研究
	5	長期宇宙滞在後の効果的なリハビリテーションに関する研究
	6	長期宇宙滞在の看護技術(スキンケア、排泄支援など)に関する研究
	7	長期宇宙滞在の口腔衛生技術に関する研究
	8	冷却型赤外検出器(量子井戸型 Type2 超格子)の研究
	9	衛星搭載用 W-band ドップラーレーダのハードウェア特性評価およびシミュレーションの研究
	10	地球観測衛星に搭載した高分解マルチスペクトル光学センサを用いた変化抽出等の利用解析の実施
	11	宇宙からの地球観測データ等に基づくグローバルな水循環変動に関する研究
	12	数値シミュレーションと実験の融合技術に関する研究開発
	13	宇宙往還機の熱空力数値シミュレーション技術に関する研究開発
	14	実エンジン燃焼器解析のための効率的シミュレーション技術の研究
	15	宇宙太陽光利用システムに関する研究開発
	16	スペースデブリ除去および導電性テザーの研究開発
	17	ISS 搭載・宇宙環境計測装置(SEDA-AP)観測データを中心とした超高層環境の研究
	18	50～100kg の小型衛星の自律的バスシステムの研究
	19	太陽電池セルの放射線劣化に関する研究
	20	宇宙機システムおよび搭載機器の熱制御用ヒートスイッチの研究
	21	宇宙飛行士支援ロボットの研究(高出力精細ロボットハンドの研究等)
	22	複合材構造健全性診断技術に関する研究
	23	複合材層間強度特性評価に関する研究
	24	ナノ複合材料のマイクロ・ナノ領域における材料特性評価技術に関する研究
	25	新規耐熱性高分子および複合材料の創成に関する研究
	26	複合材の非破壊検査の高度化に関する研究
	27	先進複合材料のデータベース評価技術および電気化学干渉に関する研究
	28	乱流騒音予測解析システム及び評価技術の構築に関連した CFD 解析の先端的研究
	29	風洞情報化システム(デジタル/アナログ・ハイブリッド風洞)に関する研究開発
	30	ヘリコプタ・ロータの空力性能および騒音特性解明のための渦構造に関する研究
	31	航空機機体騒音評価に関する計算空力音響学(Computational Aero-Acoustics)の研究
	32	「すざく」衛星プロジェクトの推進と高エネルギー天文学・宇宙物理学の研究
	33	スペース VLBI 観測実現のための先端技術(展開アンテナ、柔軟構造制御、精密軌道決定)
	34	ASTRO-H 衛星搭載観測装置の開発とプロジェクトの推進
	35	BepiColombo 衛星搭載観測装置の開発とプロジェクトの推進
	36	地球惑星大気観測センサのアルゴリズム検証・改良及びデータ解析研究
	37	大気球による微小重力実験システムの開発研究
	38	弱電離複合系プラズマに関する研究
	39	宇宙環境を利用する植物および関連微生物類の生理学的研究
	40	PLANET-C のデータアーカイブの構築および金星大気研究
	41	PLANET-C のデータ解析アルゴリズムの開発および金星大気研究
	42	「あけぼの」・「ジオテイル」衛星データを活用した国際共同研究
	43	内部磁気圏観測衛星搭載用精密磁力計の開発
44	普遍的「プラズマ宇宙」視点からの磁気圏プラズマ物理研究	

	45	スペースプラズマ・高速衝突に関する実験的研究
	46	「ひので」プロジェクト等による太陽物理学関連研究
	47	スペース VLBI 観測による電波天文学関連研究
	48	国際宇宙ステーション搭載全天 X 線監視装置 MAXI を用いた宇宙物理学研究
	49	データベースを用いた宇宙科学研究とその利用性を向上させるための研究開発
	50	数値シミュレーションによる観測機器開発・データ解析支援手法の研究
	51	再突入飛行システムに関する研究
	52	深宇宙探査ミッションの計画立案に関する研究
	53	先進熱制御技術の研究
	54	電波・光による宇宙での情報及びエネルギー伝送に関する研究
	55	宇宙機の自律システムの研究開発
	56	極限宇宙環境に耐える電子デバイスの開発研究
	57	化学推進ロケットの研究
	58	最適設計、設計探査、データマイニング
	59	宇宙推進工学の研究
	60	先進型電気ロケット推進の高性能化研究
	61	挑戦的な宇宙ミッション実現に向けた宇宙輸送・航行における気体力学に関わる研究
	62	観測ロケットによる超高層大気物理学研究
	63	極微量試料の地球環境による汚染の防止と汚染評価に関する研究
	64	高エネルギー天文学・宇宙物理学のための新しい観測装置の研究
	65	再使用宇宙輸送システムの研究
	66	小型科学衛星搭載用紫外分光撮像機器の開発
	67	SPICA 計画等の将来計画に向けた赤外線観測装置の開発研究
	68	「あかり(ASTRO-F)」等による赤外線天文学の観測的研究
	69	大気球による天文観測のための姿勢制御システムの開発研究
	70	月面でのサバイバル・長期観測に関する研究
	71	小惑星探査機による光学撮像機器の開発および微小重力地質学、画像航法誘導に関する研究
	72	かぐやのデータを使った月の起源と進化に関する研究
3. 応募資格	次の各号に該当する者 (1) 博士号取得 (または取得見込み) が平成 14 年 4 月 1 日以降である者 (2) 博士号取得者 (採用日までに取得可能な者を含む。)、又はこれと同等の研究能力を有する者 ※過去に宇宙開発事業団の宇宙開発特別研究員、独立行政法人航空宇宙技術研究所の航空宇宙特別研究員、文部科学省宇宙科学研究所の研究機関研究員及び宇宙航空研究開発機構宇宙航空プロジェクト研究員、任期付プロジェクト研究員に採用された方は、以前に採用された研究テーマと同様なテーマでの応募はできません。	
4. 採用人数	20名程度 (補欠合格者を含まず)	
5. 待遇	(1) 給与: 月額 470,000円 (2) 諸手当: 通勤手当 (実費上限月額 55,000円まで: 公共交通機関利用の場合) 業績手当 (年度末に業績評価を実施し、特に優れた実績をあげた者に対して支給) (3) 研究費: 研究員個人に対する個別の研究費支給はありません。 (4) 宿舎: 公務員宿舎、及び機構保有宿舎の利用はできません。住宅手当の支給はありません。 (5) 休暇: 完全週休 2 日制、祝祭日、年末年始 (12/29~1/3)、有給休暇 (20 日、2 年まで繰越可)、慶弔休暇、夏期休暇 (7 日)、産前産後休暇 (有給)、育児休暇 (2 年目より取得可能)、介護休暇など (6) 福利厚生: 科学技術健康保険組合、労災保険、雇用保険、JAXA 共済会、契約保養施設等	
6. 応募書類	ホームページから申請書等の指定様式 (A4 サイズ) をダウンロードして印刷し、必要事項を記入、写真を貼付した上で、下記書類一式を提出してください。 (1) 任期付プロジェクト研究員申請書 (指定様式) (2) 研究計画書 (指定様式) (3) 発表論文等研究業績 (指定様式) (4) 代表的な論文 1 編の要旨 (2,000 字程度) (指定様式) (5) 代表的な論文 2 編以内の写し (A4 サイズ、片面コピーに統一) (6) 学位取得証明書又は学位取得見込証明書 (見込証明書は指導教授作成のものでも可) (7) 健康診断書 (6ヶ月以内、身長、体重、視力、聴力、内科所見、X線所見、検尿を含むもの) (8) 研究指導者もしくはこれに代わる者の推薦状 (指定様式) ※厳封のまま提出 (9) 上記 (1)~(7) までの写し 1 式 (A4 サイズ、片面コピーに統一すること)	
7. 応募方法	封筒に『任期付プロジェクト研究員応募書類在中』と朱書きした上で、下記の提出先まで簡易書留または特定記録郵便にて郵送してください。 <div style="text-align: center; border: 1px dashed black; padding: 5px;">〒112-8515 小石川郵便局 私書箱 79 号 宇宙航空研究開発機構採用事務局 行</div>	
8. 提出期間	平成 21 年 9 月 1 日 (火) ~ 平成 21 年 9 月 25 日 (金) 必着	
9. 選考方法	①書類選考	【合否発表】平成 21 年 11 月 5 日 (木)
	②専門面接	【選考日程】11 月中の 1 日を予定 (詳細は、書類選考合格者に対し個別に通知します)

	<p>【合否発表】 11月下旬に書面で郵送予定</p> <p>※上記スケジュールは、あくまで現時点での予定であり、今後変更になる可能性があります。 変更となる場合は、JAXA採用ホームページ上で周知するとともに、メール等により応募者にお知らせします。 ※若干名を補欠者合格者として登録し、欠員が生じた場合に上位者から順次採用を行うことがあります。</p>
10. 採用日	平成22年4月1日
11. 雇用	<p>独立行政法人宇宙航空研究開発機構任期付プロジェクト研究員として、年度毎の雇用契約を締結します。 なお、雇用期間については、各年度末に業績評価を行った上で、当初採用日から通算して最長3年まで延長されま す。任期終了後に、JAXA職員に採用される制度ではありません。 雇用期間中、産前産後休暇及び育児休暇(2年目以降)を取得された場合には、その期間分について、当初採用 日から5年を超えない範囲で期間の延長をすることが出来ます。</p>
12. 備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 採用後は、大学院に在学することはできません。</li> <li>● 着任や帰郷の旅費及び引っ越し費用は支給しません。</li> <li>● 選考に際し発生する交通費・宿泊費については、すべて自己負担となります。</li> <li>● 選考は原則として、日本語で行います。ただし、場合によっては、英語での面接も考慮します。</li> <li>● 採用通知後に辞退される場合は、辞退届を提出していただきます。</li> <li>● 一旦提出された応募書類については、返却いたしかねますので予めご了承ください。</li> <li>● 外国籍の方については、選考に合格した場合でも、平成22年3月31日までに在留資格証明書を提出できるこ とが最終的な入社の条件となります。</li> <li>● 各研究テーマの研究指導者にコンタクトしたい方は、別紙記載の問合せ先にコンタクトしてください。</li> </ul>
13. 問合せ先	<p>独立行政法人宇宙航空研究開発機構 採用事務局 (平成21年9月1日以降受付開始)</p> <p>TEL: 03-5804-5308 (平日9:30~17:30まで)</p> <p>E-MAIL: <a href="mailto:jaxa-jimukyoku@disc.co.jp">jaxa-jimukyoku@disc.co.jp</a></p> <p>(迷惑メール防止のため@を全角にしています。メール送信の際は小文字に直してお送り下さい)</p>

<個人情報の利用目的について>

宇宙航空研究開発機構の宇宙航空プロジェクト研究員採用に関連して提供された個人情報については、書類選考、面接試験等の採用選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き全ての個人情報を責任を持って破棄いたします。

<参考情報>

■ 過去3年間の採用状況

採用年度	本部	応募者数	合格者数	倍率	補欠合格者数
平成19年度	宇宙利用推進本部	2	1	2倍	0
	総合技術研究本部	16	3	約5倍	2
	航空PG	4	1	4倍	1
	宇宙科学研究本部	56	9	約6.5倍	4
	ITセンター	1	1	1倍	0
総計		89	27	約5.3倍	7

採用年度	本部	応募者数	合格者数	倍率	補欠合格者数
平成20年度	宇宙利用ミッション本部	3	1	3倍	0
	研究開発本部	4	2	2倍	0
	宇宙輸送ミッション本部	1	1	1倍	0
	月惑星PG	4	1	4倍	2
	宇宙科学研究本部	59	12	約4.9倍	4
	ITセンター	1	1	1倍	0
総計		72	18	約4.5倍	6

採用年度	本部	応募者数	合格者数	倍率	補欠合格者数
平成21年度	宇宙利用ミッション本部	5	2	約2.5倍	0
	有人宇宙環境利用ミッション本部	7	3	約2.3倍	1
	宇宙輸送ミッション本部	0	0	—	0
	研究開発本部	4	3	約1.3倍	2
	月惑星探査PG	11	1	11倍	1
	宇宙科学研究本部	49	10	4.9倍	4
	情報計算工学センター	1	1	1倍	0
総計		77	20	約3.9倍	8

■ 研究員終了後の進路状況

年度	退職者数 (任期满了含む)	JAXA職員 (経験者採用 及び教育職採用)	大学教官等	他研究機関	その他
平成15年度	19	2	4	2	11
平成16年度	19	4	3	4	8
平成17年度	10	4	1	3	2
平成18年度	22	4	3	1	14
平成19年度	21	6	2	4	9
平成20年度 (H21.8.1現在)	25	8	12	2	3
総計	116	28	25	14	49

独立行政法人 宇宙航空研究開発機構

平成22年度 経験者採用

『募集要項』

1. 募集の趣旨	<p>長期に亘り宇宙航空研究開発機構(以下「機構」という。)の業務に従事し、今後展開する宇宙航空分野における研究開発に貢献することを前提として、宇宙航空分野の経験者に限定せず、多種多様な分野から人材を採用します。</p>																																								
2. 募集職務	<p>下記の「1」～「20」の中から一つを選択して応募してください。</p> <p>各職務に対して個別に求められる能力、資質に関しては「別紙」を参照してください。</p> <p>複数の職務に併願する場合は、全く別の応募として新たな応募書類を準備した上で、個別に郵送してください。</p> <p>なお、入社後の業務状況により、将来的には応募職務とは異なる業務を担当する可能性があります。</p> <table border="1" data-bbox="252 477 1489 1373"> <tr><td>1</td><td>構造健全性の先進的解析・評価技術に関する研究</td></tr> <tr><td>2</td><td>航空機の知能化・自律制御技術の研究</td></tr> <tr><td>3</td><td>超音速機のソニックブーム評価・計測技術及び音響・構造連成解析技術に関する研究</td></tr> <tr><td>4</td><td>研究飛行専門職(実験用航空機の操縦・研究評価、運航管理等)</td></tr> <tr><td>5</td><td>スペースデブリ対策研究の総合的推進</td></tr> <tr><td>6</td><td>20～100 kg級小型衛星開発</td></tr> <tr><td>7</td><td>大規模な情報システムの企画立案・整備・運用・評価</td></tr> <tr><td>8</td><td>国際周波数調整を含む周波数管理</td></tr> <tr><td>9</td><td>スペースチェンバー(宇宙プラズマ発生装置)を用いた研究</td></tr> <tr><td>10</td><td>電気設備技術業務</td></tr> <tr><td>11</td><td>宇宙医学研究</td></tr> <tr><td>12</td><td>水棲生物飼育・実験技術の開発および JEM での水棲生物実験計画の企画調整</td></tr> <tr><td>13</td><td>衛星搭載用地球観測光学センサの研究開発</td></tr> <tr><td>14</td><td>地球環境問題解決に資する衛星観測と数値気象・気候モデルの統合利用手法の開発</td></tr> <tr><td>15</td><td>月惑星探査に必要な高精度誘導技術の研究開発</td></tr> <tr><td>16</td><td>宇宙機やその運用に関する研究開発(電気・電子分野)</td></tr> <tr><td>17</td><td>宇宙機やその運用に関する研究開発(通信・データ処理系分野)</td></tr> <tr><td>18</td><td>宇宙機やその運用に関する研究開発(構造機構分野)</td></tr> <tr><td>19</td><td>宇宙機やその運用に関する研究開発(熱設計分野)</td></tr> <tr><td>20</td><td>宇宙放射線の計測・遮蔽・防御・被爆管理技術等の研究・開発</td></tr> </table>	1	構造健全性の先進的解析・評価技術に関する研究	2	航空機の知能化・自律制御技術の研究	3	超音速機のソニックブーム評価・計測技術及び音響・構造連成解析技術に関する研究	4	研究飛行専門職(実験用航空機の操縦・研究評価、運航管理等)	5	スペースデブリ対策研究の総合的推進	6	20～100 kg級小型衛星開発	7	大規模な情報システムの企画立案・整備・運用・評価	8	国際周波数調整を含む周波数管理	9	スペースチェンバー(宇宙プラズマ発生装置)を用いた研究	10	電気設備技術業務	11	宇宙医学研究	12	水棲生物飼育・実験技術の開発および JEM での水棲生物実験計画の企画調整	13	衛星搭載用地球観測光学センサの研究開発	14	地球環境問題解決に資する衛星観測と数値気象・気候モデルの統合利用手法の開発	15	月惑星探査に必要な高精度誘導技術の研究開発	16	宇宙機やその運用に関する研究開発(電気・電子分野)	17	宇宙機やその運用に関する研究開発(通信・データ処理系分野)	18	宇宙機やその運用に関する研究開発(構造機構分野)	19	宇宙機やその運用に関する研究開発(熱設計分野)	20	宇宙放射線の計測・遮蔽・防御・被爆管理技術等の研究・開発
1	構造健全性の先進的解析・評価技術に関する研究																																								
2	航空機の知能化・自律制御技術の研究																																								
3	超音速機のソニックブーム評価・計測技術及び音響・構造連成解析技術に関する研究																																								
4	研究飛行専門職(実験用航空機の操縦・研究評価、運航管理等)																																								
5	スペースデブリ対策研究の総合的推進																																								
6	20～100 kg級小型衛星開発																																								
7	大規模な情報システムの企画立案・整備・運用・評価																																								
8	国際周波数調整を含む周波数管理																																								
9	スペースチェンバー(宇宙プラズマ発生装置)を用いた研究																																								
10	電気設備技術業務																																								
11	宇宙医学研究																																								
12	水棲生物飼育・実験技術の開発および JEM での水棲生物実験計画の企画調整																																								
13	衛星搭載用地球観測光学センサの研究開発																																								
14	地球環境問題解決に資する衛星観測と数値気象・気候モデルの統合利用手法の開発																																								
15	月惑星探査に必要な高精度誘導技術の研究開発																																								
16	宇宙機やその運用に関する研究開発(電気・電子分野)																																								
17	宇宙機やその運用に関する研究開発(通信・データ処理系分野)																																								
18	宇宙機やその運用に関する研究開発(構造機構分野)																																								
19	宇宙機やその運用に関する研究開発(熱設計分野)																																								
20	宇宙放射線の計測・遮蔽・防御・被爆管理技術等の研究・開発																																								
3. 応募資格	<p>以下の条件をすべて満たす者。</p> <p>「1」～「20」</p> <p>(1)学歴:大学卒業以上</p> <p>(2)実務経験:宇宙航空分野に限らず、応募職務に応用できる分野での実務経験5年程度以上 (博士号取得者については、3年間を上限として大学院在学年数を実務経験年数に計上可)</p> <p>(3)勤務地:日本全国、及び海外での勤務が可能なこと</p>																																								
4. 採用人数	7名程度																																								
5. 応募方法	<p>ホームページから入社志願書(A4サイズ)をダウンロードして印刷してください。入社志願書に必要事項を記入し、写真を貼付した上で、下記書類一式を提出してください。</p> <p>なお、※印のついている書類は必須提出であり、それ以外は任意提出です。</p> <p>(1)入社志願書※(機構指定様式)</p> <p>(2)自己アピール資料※(様式自由。A4サイズ4枚以内で、これまでの研究業績や実務経験に基づき、ご自身の専門能力高さやJAXAでの活躍の可能性を自由にアピールしてください。)</p> <p>(3)代表的な論文1編の写し(任意提出、A4、片面コピー。英文の場合は、1枚以内の和文概略を添付。)</p> <p>(4)推薦書(任意提出、様式自由)</p> <p>(5)上記(1)～(4)までの書類一式の写し※(A4、片面コピーに統一すること)</p> <p>なお、WEB試験を通過された方には、専門面接までに以下のものを提出していただきます。</p> <p>●卒業証明書※(最終学歴のもの)</p>																																								

	<p>●成績証明書※(大学院修了者は、大学学部の成績証明書も提出)</p> <p>●健康診断書※(最近6ヶ月以内。身長、体重、視力、聴力、内科所見、X線所見、検尿を含むこと。)</p>	
6. 提出期間	平成21年9月1日(火) ~ 平成21年9月25(金) 必着	
7. 提出方法	封筒の表に『経験者採用応募書類』と朱書きした上で、必ず簡易書留または特定記録郵便で下記の宛先に郵送してください。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">           〒112-8515 小石川郵便局 私書箱 79号            宇宙航空研究開発機構採用事務局 行         </div>	
8. 選考方法	①書類選考 および WEB 試験	<p>【通過発表】 平成21年10月13日(火)を予定</p> <p>※通過された方には、WEB試験を受験していただきます。</p> <p>インターネット上でWEB試験(英語、国語、数学、適性検査)を実施し、書類選考の最終的な合否判定の参考にします。</p> <p>【受験期間】 平成21年10月13日(火)~平成21年10月18日(日)を予定</p> <p>【合否発表】 平成21年10月20日(火)を予定</p>
	②専門面接	<p>【選考日程】 平成21年10月26日(月)を予定</p> <p>【合否発表】 平成21年10月29日(木)を予定</p>
	③最終面接	<p>【選考日程】 平成21年11月20日(金)を予定</p> <p>【合否発表】 平成21年11月下旬に書面で郵送予定</p>
	<p>※上記スケジュールは、あくまで現時点での予定であり、今後変更になる可能性があります。変更となる場合は、随時応募者にお知らせします。</p>	
9. 待遇	給与	能力・経験を考慮の上、機構の規定により決定。(参考:大卒30歳 採用時本給月額 約30万円程度)昇給年1回、賞与年2回、賭手当(特別調整手当、通勤手当、住宅手当、他)、退職金制度有。
	休日休暇	完全週休2日制、祝祭日、年末年始(12/29~1/3)、有給休暇(20日、2年まで繰越可)、慶弔休暇、夏期休暇(7日)、産前産後休暇(有給)、育児休暇、介護休暇など
	勤務地	本社(調布)、又は事業所(丸の内、相模原、筑波、角田、種子島、内之浦、名古屋、及び海外)
	定年	60歳
	宿舍	独身用・世帯用が用意されていますが、空室状況等により入居希望に添えない場合は、機構の規定により住宅手当を支給します。
	福利厚生	科学技術健康保険組合、労災保険、雇用保険、JAXA共済会、契約保養施設等
10. 採用日	平成22年4月1日	
11. 備考	<p>●一旦提出された応募書類については、返却いたしかねますので予めご了承ください。</p> <p>●選考に係る交通費・宿泊費はすべて自己負担となります。</p> <p>●外国籍の方については、選考に合格した場合でも、平成22年3月31日までに在留資格証明書を提出できることが最終的な入社の条件となります。</p> <p>●現在、職についている方は円満退社が条件となります。</p>	
12. 問合せ先	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 採用事務局(平成21年9月1日以降受付開始) TEL:03-5804-5308 (平日9:30~17:30まで) E-MAIL: <a href="mailto:jaxa-jimukyoku@disc.co.jp">jaxa-jimukyoku@disc.co.jp</a> (迷惑メール防止のため、@を全角にしています。メール送信の際は小文字に直してお送り下さい)	
<p>&lt;個人情報の利用目的について&gt;</p> <p>宇宙航空研究開発機構の経験者採用に関連して提供された個人情報については、書類選考、筆記試験、面接試験等の採用選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き全ての個人情報を責任を持って破棄いたします。</p>		

## 【参考】

## ■ 過去の経験者採用状況

採用年度	応募者数	合格者数	倍率	配置先(勤務地)
平成16年度(H16.4.1 入社)	115名	6名	約19.1倍	晴海1名、筑波3名、調布2名
平成17年度(H17.4.1 入社)	80名	11名	約7.2倍	東京1名、筑波4名、調布5名、相模原1名
平成18年度(H18.4.1 入社)	141名	12名	約11.7倍	東京1名、筑波5名、調布3名、相模原3名
平成19年度(H19.4.1 入社)	111名	9名	約12.3倍	筑波2名、調布5名、相模原2名
平成20年度(H20.4.1 入社)	80名	8名	10倍	筑波4名、調布1名、相模原2名、角田1名
平成21年度(H21.4.1 入社)	98名	11名	約8.9倍	筑波6名、調布2名、相模原2名、東京1名

**独立行政法人 宇宙航空研究開発機構**  
**平成22年度 障がい者採用**  
**『 募 集 要 項 』**

1. 募集の趣旨	<p>長期に亘り宇宙航空研究開発機構(以下「機構」という。)の業務に従事し、今後展開する宇宙航空分野における研究開発に、熱意と責任を持って取り組むことのできる人材を採用します。</p>	
2. 募集職種	<p>研究開発系・研究専任系・経営管理系          なお、入社後の業務状況により、将来的には希望職種とは異なる業務を担当する可能性があります。</p>	
		<p>入社後に担当する主な職務内容</p>
	<p>研究開発系          研究専任系</p>	<p>科学衛星を含む人工衛星、ロケット、宇宙ステーションの開発・打上・追跡・運用、宇宙航空技術研究開発、宇宙環境利用実験、地球観測データ利用促進、情報システム開発・運用、安全・信頼性・品質管理</p>
<p>経営管理系</p>	<p>法務、契約、経理、会計、総務、経営企画、広報、人事、給与、国際、産学官連携等</p>	
3. 応募資格	<p>以下の条件をすべて満たす者。          (1)障害者手帳をお持ちの方          (2)学歴:短大卒以上(高専、専門学校を含む)          (3)実務経験:新卒、第二新卒、経験者、すべて応募可とします          (4)勤務地:入社当初の勤務地は応相談。ただし、将来的には日本全国での勤務が可能なこと。</p>	
4. 採用人数	<p>若干名</p>	
5. 応募方法	<p>ホームページから入社志願書(A4サイズ)をダウンロードして印刷してください。入社志願書に必要事項を記入し、写真を貼付した上で、下記書類一式を提出してください。          なお、※印のついている書類は必須提出であり、それ以外は任意提出です。          (1)入社志願書※(機構指定様式)          (2)自己アピール資料(任意提出。様式自由。A4サイズ4枚以内で、これまでの学業や実務経験に基づき、JAXAでのような活躍ができるかを自由にアピールしてください。)          (3)上記(1)及び(2)の書類一式の写し※(A4サイズ、片面コピーに統一すること)          なお、書類選考を通過された方には、一次面接時に以下のものをご提出いただきます。          ●卒業証明書※(最終学歴のもの)          ●成績証明書※(大学院修了者は、大学学部の成績証明書も提出)          ●障害者手帳の写し※(A4サイズの紙にコピーしてください)          ●健康診断書※(最近6ヶ月以内。身長、体重、視力、聴力、内科所見、X線所見、検尿を含むこと。)</p>	
6. 提出期間	<p>平成21年9月1日(火) ~ 平成21年9月25日(金) 必着</p>	
7. 提出方法	<p>封筒の表に『障害者採用応募書類』と朱書きした上で、必ず簡易書留または特定記録郵便で下記の宛先に郵送してください。  <div style="text-align: center; border: 1px dashed black; padding: 5px;">             〒112-8515 小石川郵便局 私書箱 79号              宇宙航空研究開発機構採用事務局 行           </div></p>	
8. 選考方法	<p>①書類選考          および          WEB 試験</p>	<p>【通過発表】平成21年10月13日(火)を予定          ※ 通過された方には、WEB試験を受験していただきます。          インターネット上でWEB試験(英語、国語、数学、適性検査)を実施し、書類選考の最終的な合否判定の参考にします。(インターネットによる試験が困難な場合には、相談に応じます)          【受験期間】平成21年10月13日(火)~平成21年10月18日(日)を予定          【合否発表】平成21年10月20日(火)を予定</p>
	<p>②一次面接</p>	<p>【選考日程】平成21年10月中の一日を予定(30分程度、日程・場所は応相談)          【合否発表】平成21年11月5日(木)を予定</p>
	<p>③最終面接          (含筆記試験)</p>	<p>【選考日程】平成21年11月17日(火)を予定          【合否発表】平成21年11月下旬に書面で郵送予定</p>
	<p>※上記スケジュールは、あくまで現時点での予定であり、今後変更になる可能性があります。変更となる場合は、随時応募者にお知らせします。</p>	



9. 待遇	給与	能力・経験を考慮の上、機構の規程により決定。昇給年1回、賞与年2回、諸手当(特別調整手当、通勤手当、住宅手当、他)、退職金制度有。
	休日休暇	完全週休2日制、祝祭日、年末年始(12/29~1/3)、有給休暇(20日、2年まで繰越し可)、慶弔休暇、夏期休暇(7日)、産前産後休暇(有給)、育児休暇、介護休暇など。
	勤務地	本社(調布)、または各事業所(丸の内、相模原、筑波、角田、種子島、内之浦、名古屋、及び海外)
	定年	60歳
	宿舎	独身用・世帯用の宿舎が用意されていますが、空室状況等により入居希望に添えない場合は、機構の規定により住宅手当を支給します。
	福利厚生	科学技術健康保険組合、労災保険、雇用保険、JAXA共済会、契約保養施設等
10. 採用日	平成22年4月1日	
11. 備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一旦提出された応募書類については、返却いたしかねますので予めご了承ください。</li> <li>●選考に係る交通費・宿泊費はすべて自己負担となります。</li> <li>●外国籍の方については、選考に合格した場合でも、平成22年3月31日までに在留資格証明書を提出できることが最終的な入社条件となります。</li> <li>●現在、職についている方は円満退社が条件となります。</li> </ul>	
12. 問合せ先	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 採用事務局(平成21年9月1日以降受付開始) TEL:03-5804-5308 (平日9:30~17:30まで) E-MAIL: <a href="mailto:jaxa-jimukyoku@disc.co.jp">jaxa-jimukyoku@disc.co.jp</a> (迷惑メール防止のため、@を全角にしています。メール送信の際は小文字に直してお送り下さい)	

<個人情報の利用目的について>

宇宙航空研究開発機構の障害者採用に関連して提供された個人情報については、書類選考、筆記試験、面接試験等の採用選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き全ての個人情報を責任を持って破棄いたします。

No	研究種別	求められる能力・経験
1	構造健全性の先進的解析・評価技術に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>航空機構造に関する広範な知識</li> <li>構造健全性評価に関する研究の実績と博士号取得レベル以上の能力</li> <li>航空機製造メーカーにおいて、あるいは航空機製造メーカーとの共同研究等、実機体構造に対する構造健全性検討や評価を行なった経験</li> </ul>
2	航空機の知能化・自律制御技術の研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像処理アルゴリズムを使った誘導・航法技術の設計</li> <li>物体の認知、距離計測など、画像処理アルゴリズムに関する知識</li> <li>航空機の安全技術基準、欧米におけ研究開発状況などに関する知識</li> <li>航空機を使った飛行実験の経験者。試験立案・関係者との調整経験があることが望ましい。</li> </ul>
3	超音速機のソニックブーム評価・計測技術及び音響・構造連成解析技術に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソニックブームシミュレータによる被験者試験に必要な音響解析技術及び音質評価技術</li> <li>低周波音計測センサー及び振動計測センサー(加速度計、変位計等)に関する知見</li> <li>音響・構造振動試験のための計測システムを構築した経験</li> <li>空力音響学及び構造振動学、音響・構造連成数値解析の知識と経験</li> </ul>
4	研究飛行専門職(実験用航空機の操縦・研究評価、運航管理等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>JCAB(国土交通省航空局)の事業用操縦士(飛行機陸上単発・多発(プロペラ機・ジェット機)及び計器飛行証明)、ならびに航空無線通信士またはこれと同等以上の資格</li> <li>有効な第一種航空身体検査証明書を有すること</li> <li>運航管理及び試験飛行の業務経験</li> </ul>
5	スペースデブリ対策研究の総合的推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇宙デブリ問題の現状と動向に関する知識</li> <li>デブリ対策に関する企画立案力や実行力</li> <li>国際調整の場における経験や英語による交渉力・調整力</li> <li>デブリ防御設計や発生防止標準策定の経験を含む、宇宙機に関する開発経験が望ましい</li> </ul>
6	20～100kg級小型衛星開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇宙機のシステム、サブシステム、搭載機器、あるいは搭載ソフトウェアの開発において、下記の少なくとも一つ以上のプロセスを実践して自ら開発(実施)した経験 <ul style="list-style-type: none"> <li>①設計・解析</li> <li>②製作</li> <li>③試験・評価</li> </ul> </li> <li>若手技術者の技術指導能力</li> </ul>
7	大規模な情報システムの企画立案・整備・運用・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新の情報通信技術及び情報システムセキュリティ技術に関する専門知識</li> <li>情報システムの検討～構築～運用までを主体的に実施した経験</li> <li>大規模情報システムの動向に精通していること。</li> </ul>
8	国際周波数調整を含む周波数管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線通信に関する技術的知識</li> <li>海外機関を含む外部機関等との調整能力、英語力</li> <li>国際電気通信連合(ITU)無線通信規則(RR)及びITU-R勧告に関する知識</li> <li>国内電波法令に関する知識</li> <li>(国際周波数調整業務等の実務経験があることが望ましい)</li> </ul>
9	スペースチェンバー(宇宙プラズマ発生装置)を用いた研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇宙プラズマに関する専門的知識</li> <li>スペースチェンバーを用いた観測機器の開発経験</li> <li>スペースチェンバーの運転経験</li> <li>プラズマ発生装置に関する知識と開発経験</li> </ul>
10	電気設備技術業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1種電気主任技術者又は第2種電気主任技術者の有資格者、あるいは有資格見込み者</li> <li>電気工作物に係わる主任技術者業務</li> <li>電気設備工事の施工監理業務及び電気設備の維持、保全運用に関わる業務経験者</li> </ul>

No	職種	求められる能力やスキル等
11	宇宙医学研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇宙医学全般、臨床医学、生理学に精通し、宇宙医学の研究計画を立案する能力</li> <li>医師としての臨床経験</li> <li>国際研究調整が円滑にできる英語力</li> <li>地上実験や宇宙実験の実施が可能な実験技能</li> <li>成果のとりまとめ能力(国際学会レベル)</li> </ul>
12	水棲生物飼育・実験技術の開発およびJEMでの水棲生物実験計画の企画調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>理学(生物学)または農学(水産学等)の分野のいずれかに関する優れた専門知識</li> <li>小型魚類の飼育に関する経験と知識</li> <li>水棲生物の長期飼育実験における水質維持・管理技術の研究開発実績があることが望ましい</li> <li>水棲生物を用いた実験計画の調整および取りまとめ能力</li> </ul>
13	衛星搭載用地球観測光学センサの研究開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>地上を含め類似の光学センサや光学計測機器の開発経験、或いは光学設計や光学機器要素技術に対する専門技術</li> <li>検出器、レーザなどの光学部品の原理や特性に関する知識</li> <li>ハードウェア及び取得データ間の相互評価を行う能力</li> </ul>
14	地球環境問題解決に資する衛星観測と数値気象・気候モデルの統合利用手法の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象学を専門とし、気象・気候等の数値モデルを用いた研究の経験や衛星データに基づく大気物理量(降水、雲など)の推定研究の経験があることが望ましい</li> <li>海外の研究者・技術者との交渉に必要な相当程度の英語能力および調整能力</li> <li>理学または工学の博士号を有すること</li> </ul>
15	月惑星探査に必要な高精度誘導技術の研究開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>高精度な航法・誘導、ランデブ、着陸誘導等に関する高度な研究開発能力</li> <li>誘導制御機器の開発経験(HW,SW双方)</li> <li>高精度の誘導制御を伴う宇宙機のシステム設計・運用経験</li> </ul>
16	宇宙機やその運用に関する研究開発(電気・電子分野)	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気・電子分野の知識</li> <li>電気・電子回路や電源回路の設計・製作の経験</li> <li>宇宙機(ロケット、人工衛星、宇宙ステーション等)に関する基礎知識</li> </ul>
17	宇宙機やその運用に関する研究開発(通信・データ処理系分野)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線通信分野の知識</li> <li>無線機運用やRF回線設計、データ処理系設計の経験</li> <li>宇宙機(ロケット、人工衛星、宇宙ステーション等)に関する基礎知識</li> <li>第一種陸上無線技術士の資格保有が望ましい</li> </ul>
18	宇宙機やその運用に関する研究開発(構造機構分野)	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械・機構・構造・材料の知識</li> <li>構造解析ツール(NASTRANなど)などについての知識と経験</li> <li>宇宙機(ロケット、人工衛星、宇宙ステーション等)に関する基礎知識</li> <li>試験評価についての知識と経験</li> </ul>
19	宇宙機やその運用に関する研究開発(熱設計分野)	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝熱工学・熱設計の知識</li> <li>熱制御機器/システムに関する知識と経験</li> <li>宇宙機(ロケット、人工衛星、宇宙ステーション等)に関する基礎知識</li> </ul>
20	宇宙放射線の計測・遮蔽・防御・被曝管理技術等の研究・開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇宙からの電磁波や宇宙放射線の計測実験の経験</li> <li>計測技術の開発研究の能力</li> <li>下記3分野のうちのいずれかに関する優れた専門知識 <ul style="list-style-type: none"> <li>宇宙放射線計測(被ばく線量計測を含む)</li> <li>放射線の遮蔽・防御・被ばく管理技術</li> <li>宇宙放射線に対する生物影響</li> </ul> </li> <li>宇宙放射線に関する専門分野以外の研究者との調整・対話能力</li> </ul>